

1. 件名：実用発電用原子炉の安全性向上評価の継続的な改善に係る会合の開催についての面談

2. 日時：令和2年12月17日 15時00分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ

実用炉審査部門

藤森安全管理調査官、御器谷管理官補佐、宮本安全審査専門職

審査グループ

地震・津波審査部門

佐藤主任安全審査官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門

伊東技術研究調査官、川口技術研究調査官

地震・津波研究部門

儘田主任技術研究調査官、日高主任技術研究調査官

九州電力株式会社 原子力発電本部 安全・品質保証部長他 11名※

四国電力株式会社 原子力部 安全グループリーダー他 8名※

関西電力株式会社 原子力事業本部 安全技術グループチーフマネージャー他  
13名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※2音声認識ソフトにより自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

6. その他

提出資料

- ・安全性向上評価の継続的な改善の取組状況について（案）（九州電力）
- ・安全性向上評価届出の状況および今後の予定（関西電力）
- ・高浜発電所第3号機の安全性向上評価について（平成30年4月9日面談資料2）（関西電力）
- ・伊方3号機の安全性向上評価について（案）（四国電力）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。規制庁のミキヤです。ではエスポーFSARのヒアリングを始めたいと思いますので、資料の確認をお願いします。
0:00:11	はい。九州電力の後藤です。本日のにつきましては、安全性向上評価の継続的な改善かかる取り組み状況ということで、九州で関西四国3社それぞれに土地を準備しております。
0:00:29	それと関西電力さんにつきましては資料2部構成になってございますので、計4種類の資料があるかと思えます。資料の方よろしいでしょうか。
0:00:39	じゃあ、説明の方をお願いします。
0:00:45	はい。中小電力の間です。それではですね九州電力の資料、安全性向上評価の継続的な改善の取り組み状況について、こちらを用いまして当社の状況についてご説明させていただきたいと思えます。
0:01:00	それでは資料の方見ていただきまして、まずスライドの1のところではオペレーターの構成を示しております。乾固としてまわしていくとですね安全性向上評価の概要として、これまで統計の実績であったり、届け出にあたってやります外部評価であったり公表の仕方について
0:01:19	でのなところを1ポツのほうでまず説明させていただいて、2ポツの改善に向けた取り組み状況のところ、実際に2-1から2-4までの1のPRAから2-4のストレステストのところまで、実際に安全性向上評価もやります評価についてどのような経営改善であったり取り組み状況となっているかについて説明。
0:01:39	それでいただきまして、最後3ポツ目で特定重大事故等対処施設が併設されますので今後の廃棄計画についてご説明させていただきたいというふうに考えております。
0:01:51	資料の方に中身に入っていきます、スライド2のところからが1ポツの安全性向上評価の概要のところ、まず、スライドの2では安全性向上評価の実績について示しております。当社におきましては仙台12号機と玄海三、四号機において計8回の粗度継承実施しております、
0:02:10	こちらスライド2の表に書いてる通りの届け出実績となっております。またこの表のですね右の方、右端の欄にですねPRAと安全裕度評価の評価範囲についても示しております、基本的にはPRAにつきましては、各号機の第1回統計で行っております、安全裕度評価につきましては
0:02:30	当社初めての凍結でとなりました川内1号機の第1回届け出において、まず基本となる地震と津波について評価を行いまして、第2回以降で順次評価範囲の拡大を行っている状況です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	また制度につきました 2 名置き換えておりますが届け出に当たりましては、外部有識者の指定をさらなる安全性向上に活動等目的の評価を受けておりました、また、届け書の結果につきましてはインターネット等により広く公開を行っております。
0:03:01	続きましてスライド 3 の方に移っていきましていただきまして、こちらはもう実際にPRA等安全裕度評価でどの程度評価を行っているか示しております。
0:03:12	まずPRAの実施範囲としましては、内時対象として内部事象外部事象とA評価における実効線量率の評価を行っております。内部事象につきましては、評価する範囲としては出力運転時のレベル 1 とレベル 2、あとは停止時のレベル 1PRA様。
0:03:28	外的事象については地震津波の出力時レベル 1 及びレベル 2PRAを実施している状況です。評価するリスク指標としましてはCDFCFFまたCs137 降水量が 100TBqを超えるような事故の発生頻度、あと被ばく評価について評価を行っております。
0:03:47	またその続きに、安全評価の実施範囲につきましては、評価事象としては、地震津波と地震津波の長所、また、先ほど説明しましたが、第 2 回以降に拡充している範囲としまして、地震及び津波の随件事象、
0:04:02	またその他の自然現象について層厚行っております。評価対象としましては、出力運転時の炉心損傷防止対策と格納容器共同出沒対策、使用済み燃料ピットの燃料損傷防止対策等、運転停止時、具体的にはミッドループ運転時における炉心損傷
0:04:22	対策について評価を行っております。
0:04:27	続きましてスライド 4 のほうに移っていただきまして、こちらがIAEA今ご説明しましたPRAやそれセット安全裕度評価を用いたAの評価結果を用いた具体的な活用例を示しております。
0:04:41	まず設備対策としましては、仙台第 1 回統計において抽出した活用例としてメタクラ保護継電Ⅱのデジタル化というものがあります。こちらメタクラ内にある保護継電器をアナログ式からデジタル化することで耐震信頼性を向上ができるというものでありまして、
0:04:59	効果としましては地震PRAにおけるCDFが約 5 割、CFFについて役割約 6 割程度低減できるというふうな効果を確認しております。
0:05:09	またその他の設備対策としましては、川内の第 3 回統計のものになるんですが、火山灰に対する安全裕度評価を行っております、その結果から、各設備対策立案したものがああります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:22	そちらが二つ目の項目でして安全裕度確保のための燃料取替用水タンクの安全性向上工事というふうになっておりましてこちらについても効果については、火山灰に対してさらなる安全裕度を確保できるというところを確認しているところ です。
0:05:38	続きまして運用面の対策につきましては、芸こちらのPOSと安全裕度評価ま とめて記載してるんですが、それぞれ評価結果について協議を行っておりま す。効果としましてはPRAにおける重要シナリオであったり、安全裕度評価変 えられた設計を超えた場合のプラント挙動について教育、
0:05:58	行うことで、事故調の対応能力効率向上を期待しております。
0:06:04	その具体的な活用例としましては以上でして、続きましてスライド 5 のほうで
0:06:11	冒頭申し上げました外部層からどのような外部評価を受けてるんだというところ について示しております。当社の統計でにあたりましては、まず 2 種類の外 部評価を行う、受けておりまして、まず一つ目の項目としては原子力に関わる 安全性信頼性向上委員会。
0:06:28	こちら社内に設置しております外部有識者による委員会であるんですが、こち らの方にですね、安全性向上評価の骨子について諮りまして、大所高所から のご意見をちょうだいしているところ です。具体的にいただいたご意見 5 件の 例としましては、
0:06:46	おっきな載せてこの中段の表で記載してますものがありまして原子力部門以 外の自然災害に関する事故故障情報も共有して、自然災害を起因とした事象 の分析をしてはどうかということでこういう断言をいただけてます。こちらにつき ましては対応状況としましては、
0:07:04	先般給食法令非常に雨が降ったときがありまして作業が発生したときがありま してそのときの情報をもとに傾斜の影響というものを検討しております。また、 もう一つの外部評価の種類としましては、先ほど安全性信頼性向上委員会に おきましては、東京支店の更新というところ、
0:07:24	そこを見ていただく形でご意見いただいていたところですが、一方で統計書全 体について記載の経路は問題ないかという観点で電力関係者による届け出 書全体のレビューというものを受けております。このレビューを受けまして各社 からコメントいただいた内容について届け出に適宜反映した記載について、
0:07:44	ブラッシュアップを行っているところです。
0:07:47	東京支社のスライド 6 の方に移っていただきまして、こちらが出て工場評価の 情報公開の方法について示しております。まず安全性向上評価の届け出を行 いましたらプレスリリース 2 程度情報発信するとともにですね、凍土壁での届 け出た。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:07	届け書ですね、電子データ公開範囲については当社ホームページに掲載を行っております。
0:08:13	またそのほかにもですね情報公開コーナー、当社におきましてはエネルギーパークRI見解のNDパークであったり、仙台の展示館といったところで情報公開して行っているところです。
0:08:25	スライド7からが2ポツの改善に向けた取り組み状況についてご説明させていただきます。
0:08:33	続きまして、説明させていただきます九州電力の篠崎でございます。
0:08:38	まずはPRAからの取り組み状況について説明させていただきます。
0:08:43	PRAの中でのまず内的出力時PRA評価手法の高度化取り組み状況についてご説明させていただきます。
0:08:50	一つ目のポツで、最新知見A評価手法の適用や外部レビューコメント冲縄らしい研究成果の反映などを実施することで、内的事象PRAのモデル高度化に取り組んでございます。
0:09:02	二つ目ですが、火災稼働とかでのAプラント状況の変更なども計画的比較的です。
0:09:10	いつチェックするシステムについて、高度化の取り組み状況について整理したものを記載してございます。
0:09:23	本区としては、一つ目が金賞発生頻度評価でございまして、その取り組み内容としましては、現地事務所の細分化プラント固有データの反映、起因事象発生頻度評価の更新といった取り組み内容に例示し、指定方針としております。
0:09:43	システム信頼性評価としましては、機器故障率の更新及びプラント固有データの反映、国内一般機器故障率の方針とⅡK2故障率の更新、プラントの運用状況の反映という取り組み内容でして移行するとしております。
0:10:01	また、S/minには人的過誤確率評価で評価手法の変更、サクシオンからのたりにキャッシュフローへの変更といったものを取り組んで方針としておりまして、その右側のほうに川内玄海の班員予定時期、
0:10:16	記載しておりまして、県内の方につきましては、第5回届けにも反映を行って班員予定としておりまして、玄海の方につきましては、一番派遣第1回届け出の本地域搬出済みのものがございますので、POS残りの部分につきましては、今後特需
0:10:34	のA範囲の合わせてプロフィールの方に反映していく計画としております。
0:10:41	議決第8ページ目をご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:45	続きまして、外的事象PRA評価手法の高度化取り組み状況についてですが、外的町 3PRAにおける発生を排除したINつきの評価手法の構築を目指し、フラジリティ評価システム評価についての課題を抽出整理しております。
0:11:00	現時点ロックとしては、下の表に記載しております課題について整理が終了しており、今後の安全性向上評価等のPにおいて検討しているところでございます。内部火災PRA内部溢水PRAにつきましては、なるしにおいて評価手法の改造実施中でありまして、
0:11:17	NRRCの研究成果等を踏まえ、個別プラント評価の検討を進めているところでございます。
0:11:23	下の表のところに記載しております通り、これまでの課題として挙がっておりました、階層イベントツリーに代わる手法の検討という項目につきまして、現在の非該当イベントツリー手法による評価が稼働率的な評価になってないことを確認しております。
0:11:40	二つ目の項目としまして、炉心損傷直結シナリオの精緻化検討ということで、個別の項目につきましては、発生を含むシナリオ重視施設かについて検討を行っているところではありまして、これらのシナリオが持つ特性についてはPRA結果への影響度、
0:11:56	#NAME?
0:12:05	三つ目の項目としまして、外的使用発生状況を想定した人確率評価の検討ということで、内的試算つきまして、訓練で確率の評価手法サブから 1R製はり切れ化を用いた評価承認、
0:12:22	高度化していくところも踏まえまして、外的事象につきましても、地震津波発生プラント状態を想定した例会計と用いた人材確率の評価手法検討中の状況となっております。スライド 9 ページ目をご覧ください。
0:12:39	こちらの方につきましては、内的事象及び外的事象PRAかかる今後の課題というところを整理してございますが、専門家DBAねらいとコメント会話して新たな対応を新たな評価手法構築等のための研究に取り組み、
0:12:55	APRMでのさらなる高度化、適用範囲の拡大について検討を進めていっているところでございます。明日の本検証のほうに、主な課題と対象PRAと課題を整理しております。まず内的事象PRAにおきましては、ヒーターで借り入れた適用拡大、
0:13:14	I外部専門家レビュー等の範囲検討、内部レベル案BRx紹介業、人間信頼性社会的相の配電といった課題が上がっております。
0:13:26	受振PRAにつきましては、地震リスク評価手法の高度化や栄作プロセスのFLIPハザードフラジリティ評価手法の高度化という課題が挙がっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:36	1 ミキヤにつきましては、津波評価手法の高度化とフラジリティ評価手法高度化。
0:13:44	いっぺん課題が上がっております。
0:13:47	内部火災内部的やにつきましては、モデルをつけていけたプラント情報等の整備や配置等につき評価手法の整備、課題をInパイがあっております。
0:14:01	竜巻強風化の見込みにつきましては、ハザード評価手法の高度化、フラジリティ評価手法の開発という課題が現在挙がっております。
0:14:10	その他の項目としまして、別PR評価関連のFPの現実的挙動の解明等モデル化構築などが課題やマルチユニットPRAの手法開発という課題がここもハとして挙げております。
0:14:28	検討しないロジック数万円ください。
0:14:34	NaFに今後の改善計画としていただいております、これまでIF上げさせていただいた新鋭事務所PRA地震PRA津波PRAにつきましては、きつい高度化の取り組みを進めたり、評価手法の開口を作る等、
0:14:50	構築高度化を進めていくということで、巻き続き、改善を行っていく計画としてございます。
0:15:00	九州電力二宮です。ソースターム評価とか液膜評価について、現状と今後の活動についてご説明いたします。11 ページ右上 11 ページ、ソースターム評価についてですけれども、現状の放出カテゴリーの分類における発生頻度とソースタームと題しまして事故時の摂取、
0:15:20	放出量が 100TBqを超える事故の発生頻度を評価してございます。具体的に例として、左側に玄海 3 号機の初回届け出の評価結果を示してございます。10 日という放出カテゴリーに対しまして、100 テラベクレルを超える方は
0:15:39	発生頻度と、被ばく評価に繋がらの格納容器健全のカテゴリーの発生頻度とソースタームの解析結果を示してございます。今後の活動方針につきましては、リスク低減効果を確認するためにフィルタベントによる
0:15:59	業務管理放出時のソースターム評価の実施を検討しております、フィルタベントにより大気中に放射性物質を放出する場合を新たな新たに管理放出としてカテゴリーを、
0:16:13	分類することを検討中です。そう具体的なイメージにつきましては、右側の表なんですけれども、管理放出のカテゴリーを新たに作るというようなイメージでいます。
0:16:29	12 ページをお願いします。
0:16:33	12 ページ、被ばく評価についてですけれども、これまでの届け出においては、格納容器健全性のカテゴリーに対しまして刺激に対しまして被ばく評価を行って

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	おります。本日放射エネルギーや線量評価で用いている解析コードは、核種の特性に応じて統括し、
0:16:53	まとめて整理した上で計算しております、玄海3号機の例では、
0:16:59	格納容器健全の年月被ばく評価では約18mSvとなっております。これでの18mSvという値に対しまして、各経路の実効線量を表にまとめたのを右側の表に示してございますけれども、
0:17:18	経路として影響が大きいのは四番のクラウド内線量となっております。この経路につきましてはヨウ素の吸入摂取による被ばくの線量割合が大きいので、届ける処理は安定ヨウ素剤の服用などの防護措置を実施することで、事故線量を低減することが可能と。
0:17:38	期待してございます。今後の活動予定ですけれども、自己線量に寄与する核種等の分析を実施しようと考えてます。また、先ほども申しましたフィルターベントによる管理放出時のソースターム評価に基づく被ばく評価の実施を検討中でございます。
0:17:56	以上です。
0:18:01	定期主力の間です。スライド13、2-4の安全裕度評価についてご説明させていただきます。冒頭船内につき、線材国会できっかけで地震津波を行いまして川内2回以降で地震津波随件事象並びにその他自然現象について拡大を行ってきたと。
0:18:21	申しあげました拡大した範囲の地震津波の随件事象並びに相談支援現象について検討状況についてご説明させていただきます。
0:18:31	それと13まず上の方が津波の随件事象について説明しております、地震と津波の単独評価でやられたケースに対しまして、こちらの表に記載の前半事象に対する影響という半事象が及ぼす影響というものを、
0:18:46	確認しております。信頼できますと、溢水事象と火災事象について評価を行っております、溢水でいきますと建屋内では水に浸かってしまうような地震で損傷した水源から漏れた水で気がつかれてしまわないかという観点の没水評価。
0:19:03	また技術に損傷地先から水がかぶるような影響はないかというのは被水評価、また蒸気管が破れて蒸気影響があるかという観点で評価を行っております。
0:19:14	いつもし随時地震随伴の建屋外としましては、地震により損傷した屋外設備から影響がないかという観点で評価を行っているところです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:19:23	地震のもう一つの項目の随伴下階としましては、こちらの建屋内と建屋外で評価を行っております、建屋内につきましては、火砕物低地線入金に必要な設備が設置されています。区画内の火災元からの影響の有無であったり、
0:19:39	を確認しておりますので、外部評価について、外部火災については、屋外の火災元からも輻射熱による建屋の影響等について評価を行っております。津波の前半事象としましては津波随伴火災を評価を行っております、
0:19:56	こちらは津波による波源の移動等を想定して影響のほうを確認しているところです。
0:20:01	続きまして、10 スライド 13 の下の方がその他の自然現象に対するエー・アンド・デイヨーロッパの評価状況について記載しております、まず一つのポツではその他の自然現象全般に対する評価方針としまして、設計基準事故及び重大事故の設計想定よりも大きい規模拡大発生日
0:20:21	の低い規模であります。年超過確率 10 のマイナス 6 乗相当のハザードを想定して、発電所への影響のほうを確認しております。超過してる事象としましては竜巻落雷等について評価を行っております。
0:20:36	多分もう一つのポツのほうですが、年超過確率が設定できないような場合におきましても、設計時のS計算条件等を保守的に扱います、実際の裕度がどの程度かというふうな確認を行っております。具体的な例としましては川内 3 回の届け出を行いました。
0:20:53	火山灰に対する安全裕度評価というものがあつた状況です。またこちらスライド 13 の本日の資料では記載できておりませんが、今後の取り組みとしまして、PRA等と同様に特重についても反映していくこと、また先ほどご説明しました火山灰のような年超過確率が設定できないように、
0:21:13	事象につきましても、これこれまで実施して定性的に良い評価にとどまっていた項目というのもありますので、こういった評価についてもですね、医療的な想定可能になったものについては評価を実施していくことを考えているところです。
0:21:28	続きましてスライド 14 のところ、再度事業に移っていきまして、こちら項目変わります、散歩靴の特定重大事故等対象施設の範囲計画です。
0:21:40	こちらの特定重大事故施設のPRA安全評価への反映につきましては、段階的に反映を行っていくことを考えております、まず一つ目じりのところなんですが、
0:21:52	設置後、次回仙台第 4 回が設置直後の届け出とありますので、この届け出におきまして特重の主たる機能である、炉心損傷後の格納容器破損防止機能に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	着目しましてQたベント等によるリスク低減効果ということをまず評価することを考えております。
0:22:11	その後の届け出におきまして炉心損傷防止を含めたですね、生徒の正確不良というところも考慮した評価を行っていきたいというふうに考えております。制度事業の中ほどに工程等載せて仙台の工程表のPOS載せておりますが、
0:22:27	仙台 12 号機それぞれ来年 2021 年度に第 4 回届け出を行って計画しておりますので、こちらで軸低減効果をその後 2022 年度以降誤開ロッカーに予定しておりますので、こちらの方で血清活用を踏まえた評価といったを行っていききたいという行っていく計画です。
0:22:45	また玄海 34 号機につきましてはこちらの特重の設置期限が 2022 年度となっておりますので、これらの特重施設の設置状況を踏まえまして 2022 年度以降の評価を実施していく計画です。
0:22:59	また特重施設の統計書の記載につきましては設置法等ですすでに保管してる範囲がありますのでこちらの整理に準じて、届け書本文公開の範囲または観光仕様非公開の範囲について検討していきたいというふうに考えております。
0:23:15	京急製の資料、九州がしました資料含めとしましては、以上です。
0:23:21	はい、ありがとうございます。すべての人さんさ、
0:23:25	こうですので、同じ説明については繰り返さなくて結構ですので、お願いします。
0:23:32	はい。経営関西電力の丸山でございます。最後ですね非常についてご説明させていただきますと思います。
0:23:40	差分ということですので、簡単に流しますとですね、1 ページに目次については基本的な九州さんと同じでございます。2 ページ目と 3 ページ目につきましては、基本的には先ほどの 93-5 の資料と同じですP届け出実績外部評価の状況。
0:23:58	あとは公開方法について示させていただいております。右肩 4 ページ目でよろしくお願いたします。資料の中身、内容としてはですね、構成としては同じなんですけれども、弊社の場合は届け出済みの安全性向上評価のですね結構踏まえた主な安全性向上対策としましては、PRAのほうから入れられた対策として、RCPシャットダウン。
0:24:18	シールドフィルタベント等の導入につきまして、はかせていただいているところ、また、安全裕度評価の結果から言われた対策としましては、緊急時対策本部要員等に等々ですね対象者とした教育訓練への活用というところで、活用例がちょっと異なりますけれども、基本的な資料の構成としては同じでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:37	右肩 5 ページ目につきましては、こちらですね内部事象PRAの改善の取り組み状況でございますけれども、先ほど船内計算機玄海さんのところで書かれている雨夜とですね基本的には同じかと考えております。
0:24:52	伊方の 6 ページでございますが、こちらですね内部事象PRAの今後の改善の取り組みでございますけれども、基本的には先ほどの九州産の米内容とですね、基本的には同じかなと考えております。
0:25:04	7 ページ目ですね、こちらは地震津波PRAの改善の取り組み状況でございますけれども、九州さんとですね、異なる点といたしましては、二つ目のですね、地震により炉心損傷に直結する直結するですね、機器建屋等の損傷時のシナリオの精緻化の項目自体は同じなんですけれども、ちょっと若干C状況があるかなと。
0:25:24	この点、一つ目のですねポツのところで、大飯 34 号機の
0:25:28	について記載させていただいてございます。具体的にはですね大飯 34 号機におきましては、原子炉建屋のうち建屋上部にございますし、
0:25:37	いろいろ監視とかですね、そういったところでございます。予算シュゾウ主蒸気管室が損傷したほうがいいと。従来の評価手法におきましては原子炉建屋全体が損傷しても新損傷に直結する評価になると、形でやったんですけれども、時上端そうですね減少建屋と区別する評価評価とすることでお聞きすることですね。
0:25:56	を信じて損傷に直結しないシナリオがあることを確認いたしましてすでに地震PRAに反映してございます。この点のみがですね地震津波PRAの改善の取り組み状況で異なる点でございます。
0:26:08	言い方 8 ページ目につきましては先ほど九州さんのですけれども、概ねしうかと考えております。
0:26:14	右肩 9 ページ目、こちらですねさらなるPRAの高度化に向けた取り組みにつきましても、基本的には九州さんの資料と同じでございます。
0:26:25	続きまして離れるものがございます。
0:26:28	あと 10 ページにですねソースターム評価についてご説明しておりますけども、こちらの中身については起立者九州電力さんを含めの内容と、オフィオカードがございません。評価結果ですね、発生頻度ですとか、CV健全時の放出量の値を行った評価結果部分ではあるところはございません。
0:26:48	11 ページ、被ばく評価結果でございます。こちら九州さんの御説明内容を基本同じなんですけれども、加えて一つ情報を超えております。具体的にはですね、白丸の二つ目ですね、評価結果及び被ばく性により寄与する核種等についてというところの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:07	設定 3 細目内部被ばくの要因となる栄養素に対する防護措置を行うことで、公衆実効線量が大幅に低減すると考えられるといったところで詳細は別紙の通りというところがございます。こちらはですね、高浜 3 号機の大会で会合の際にですね、
0:27:25	さらに学習として被ばくに寄与するものはどんなものがあるかといったご質問ございましたので、それに対して分析の結果というところを回答ですねみんな資料としても提出させていただいた指摘がございます。そちらの以浅倉庫の下の表のですね、
0:27:43	ところに整理しております、CV健全のときにはですね、放射エネルギーの使用の割合の高い核種というところで整理しております。この際はですね、戦略およびそに関連のある核種ごとの放出放射エネルギーですね、こちらに着目して整理したのになります。
0:28:02	先ほどの内部被ばくの要素というところになりますと、こちらの表の一番右の列ですね、内部被ばくについてそれぞれ核種として 31 とか 5 核種並べたものになります。この中で、この 5 核種が上位 90%程度占めていてママダば、
0:28:22	よう早期の 80%を示していますよというところで、要素が効いていますよというところの補足よな形でこのような情報を御説明しておりますのでやっぴりました。
0:28:33	被ばくについては以上になります。
0:28:36	はい。関西電力丸山でございます。B型 12 ページ目からまた安全裕度評価についてご説明させていただきたいと思っております。今までの評価状況についてですね上の表で示させていただいております、この九州電力さんと大きく異なる点といたしましては、今後の予定でさせていただいておりますための⑨その他自然現象、
0:28:56	評価のところでございますが、こちらにつきましては、二つ目の
0:29:02	チェックのところなんですけれども火山については耐専生竹テフラに係る取り組み状況を踏まえて次回届け出以降評価を検討させていただいております。船内さんの方ではですねすでにダム評価をされているということなんですけれども、弊社の場合ですね、火山については、
0:29:17	DNPの議論がですね、まだ審査中でございますので、そういった許認可の状況を踏まえて今後ですね次回届けて以降にですね、審査の状況を踏まえて強行させていただこうと思っております。差分としては以上でございます。右肩 13 ページ目でございます。こちらにつきましては各評価における特重施設の反映スケジュールと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:37	ことございまして、高浜 3 号高浜 45 大飯 3 号機と 4 号ですね、四つのプラントについてスケジュールを示させていただいていただいております。
0:29:47	高浜 34 号機につきましてはの特重施設の設置後のですね初回の第 3 回届け出におきまして、特重施設のうちフィルターベント等の方法をモデル化した評価を行いまして、第 4 回のKですね、特重施設の重大事故等への活用も踏まえてですね強行実施する予定でございます。
0:30:04	大飯 34 号機はですね、特重施設設置後ですね、第 4 回届け出でですね、特重施設の重大事故等への活用も踏まえた評価を実施する予定でございます。
0:30:16	一方ですね安全裕度評価につきましては、特重施設設置後の初回届け出以降ですね、評価が完了したのから順次届け出していく予定でございます。
0:30:27	下に※で書いておりますけれども届け出書へのですね特重施設に関する記載の早い保護につきましては九州電力さんと同様でございます。
0:30:36	映像説明資料としては以上なんですけれども参考資料としてですね、一番最後につけてございます、右肩 18 ページ目のところで、安全裕度評価における津波クリフエッジの話をご参考につけさせていただいております。
0:30:51	名タバコ 34 号機、大飯 34 号機の安全裕度評価におきましては、津波が建屋シール高さを超えた時点で、クリフエッジに至るとしております。この評価におきましてはですね、浸水経路を
0:31:05	考慮するものではなくて、津波が建屋C高さを超えた時点でシール高さ以下の建屋内エリアのすべてのすべてが水没する評価をしてございます。
0:31:15	現状のこういった評価をしていますけれども、格安申請に伴いましてですね、炉心損傷に至るシナリオが、津波PRAに占める割合が小さかったりですね、そもそもその絶対値が低頻度であるというところでありまして、これをさらにですね、深めた評価をより精緻なですね評価といったところは現状不要であるかなというふうに考えております。
0:31:33	そういったところの趣旨をですねこの 18 ページに書かせていただいております。関西電力からはですねサブについては以上でございます。
0:31:44	はい、ありがとうございました。
0:31:46	最後に四国電力さん、よろしいですか。
0:31:51	はい、四国電力に質問です。それでは伊方 3 号機の安全性向上評価についてという資料を用いましてちょっと関西さん九州さんとの差分を中心に説明させていただきます。
0:32:02	まず 1 ページ目は目次でございまして 2 ページ目ちょっと弊社の場合伊方 3 号の届け出を出してから会社として初めての会合ということもありますのでちょ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	つと基本方針であるとか目的目標なんかもちょっと記載させていただいております。
0:32:18	2 ページ目のみならず他には外部評価なんかも記載しています。
0:32:23	次 3 ページ目いきましてここ、こちら公開方法については、各社さんと同様でございます。
0:32:30	続きまして 4 ページ目、こちらにつきましてもちょっと初めてということで伊方 3 号機の第 1 回の安全性向上評価届け出書で規制庁さんから示されました改善が必要な事項に対してどのように対応しているかというちょっと対応状況を記載しております。
0:32:45	評価プロセスまで記載しているとか、系統線図なんかまで載せてますとかそういったことを
0:32:52	スライド 4 ページに記載してございます。
0:32:55	続きまして 5 ページ目ですが、
0:32:59	伊方 3 号の初回届け出ないかな届け出におきまして安全性向上計画を出しているんですがその実施状況というのを表にまとめてございます。
0:33:09	ちょっと会社の差分としましてはこの今後の安全性向上評価届け出における主なものしか書いて参りませんが活動今活動を実施しているものというのを書いてございます。
0:33:20	届け出ないし一緒の記載内容について、
0:33:24	評価時点の設置許可の記載内容と評価時点のアズイズのプラント状態との差異を整理して一緒に含めるであるとか、中長期的な評価について委託で具体的な評価書を検討してますとか、
0:33:38	設計の経年化評価について、今着眼点の抽出の作業に着手をしているところですとかこういった今、今後の届け出に向けてやってる活動をここにちょっとまとめて記載させていただいております。
0:33:52	瀬山さんPRAの方お願いします。
0:33:56	所則電力橋本でございます。引き続きまして 6 ページ目をお願いいたします。こちらにつきましては、PRA初回の中で施工上評価の届け出で対応した状況を書いてございます。こちらにつきましては、各社さんと大きな違いはないと考えております。
0:34:12	例えば 7 ページ目ですけれども、こちらにつきましては各 3 班との差異があるところだと思っておりますけれども、パソコン届け出以降、これまでの間に、すでにPRAの大部署のPRAにつきましてはOとか行っております、規制庁さんの方にもご提供しているところでもございますので、その対応状況というものをまとめてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:31	続いて8ページ目につきましては、内
0:34:35	的事象出力運転時の今後の活動方針として記載してございます。大きなところでは相違ないかとございます。
0:34:43	あと、下のところですけどセイコーさんに記載がなかったところとしましては、時故障に関するデータ収集をも対応していく話でしたりとか、人間信頼性データベースの構築に向けた対応を進めていくといった記載をが細分としたのかと思います。
0:35:01	続いて9ページ目でございます。
0:35:04	こちらにつきましては、受振PR日程に関する取り組み状況を記載してございます。
0:35:10	提供の形で記載している中で先方さんと違うところとしましては、当初、当社はTechカッターの社プロジェクトというものを実施しておりまして、地震ハザード評価を行っておりましてこちらが今年の10月で完了しております。今後はこちらの成功は評価のほうに反映していくといったことが、
0:35:27	53図の特徴的な違いかなというふうに思います。
0:35:31	あと下の今後の統括方針のところですけども、
0:35:36	高度化につきましては、内部事象のまずPRAの高度化が先行して進んでおりますので、こういったものを外部事象にも展開していくんですけども、地震PRAに対しまして、まず優先的に取り組みたいといったところが記載してございます。そんな大きくは変わらないと考えてございます。
0:35:54	2ページ目の実施スケジュールにつきましては全厚さんと考えてございます。
0:36:00	11ページ目、ソースタームですけども、こちらも先行さんと大きく違わないと考えておりまして、Cs立案の放出量と、100TBqを超えるような事故の発生頻度に着目しまして、今後特重施設を導入した際の
0:36:16	影響リスク低減効果といったものをお示しできるように評価を進めていきたいと考えております。また、蓋ベントを開始しました方針に関しましても、カテゴリー分けした形で整理をしたいというふうに考えてございます。あと12ページ目ですけども、こちらにつきましても、人先行さんと大きな違いはないと考えてございます。
0:36:34	ちょっと記載に差があるところとしましては、今後の活動方針のところ2ポツ目のところですけども、記載の二つに関する改善というような指摘事項もありますので、評価に関する情報等へ採用され拡充していくことを検討してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:50	続きまして、13 ページですが、登録乙でここでは安全裕度評価の実施状況及び今後の今後の活動方針を記載してございます。先行の 3 と特に記載は同じような内容ですので
0:37:05	説明は割愛しますが、今後の活動方針のところで、その他自然現象単独の安全裕度評価を実施するということで伊方発電所の立地の特徴などを踏まえて、火山に対する評価などを検討中でございます。
0:37:18	最後 14 ページですが、こちら特定重大事故等対象施設の反映方針とスケジュール、こちらも基本的に関西さんや九州さんとちょっと届け出直後にリスク低減効果を評価しまして、その次何社さらにその次で特重施設のSA活用を踏まえた評価を実施するという方針は、
0:37:35	一緒でございますがちょっと弊社の場合
0:37:39	まだ特重施設の供給開始時期とかそのまま運転差止めの状況で提携の予定が未定ですのでちょっと具体的な何年度にという、第何回というところはかけていない状況です。簡単ですが最後を中心にした説明は以上です。
0:37:59	あれ、今の伊方さんのやつは設置期限はいつでしたっけ。
0:38:06	四国電力に諮問ですと 2021 年の 3 月だったかと思います。
0:38:37	紹介各駅から、
0:38:41	目次
0:38:44	項目ごとにちょっとお伺いしていきたいと思います。
0:39:11	反映
0:39:19	は 9000 ページ目です。
0:39:34	議論が
0:39:38	またですね、公表した。
0:39:42	どんな意見があったという。
0:40:15	ちゃうんですか。
0:40:25	イトウすみません規制庁の建屋ですけども、QAさんのところということが下のPRAの 7 ページ目とかで、
0:40:33	川内については大半が第 5 回のところで反映予定であるのは、これは第 4 回ってというのは特重だけを反映させる。
0:40:47	なんか反映のやり方に今もうなんか、
0:40:51	ご検討されているんでしょうか、方針があるんでしょうか。
0:40:55	次々第 4 回全体を研究するらしいのだけでございます。第 4 回の反映する内容としましては、仙台Fujii設備設置後の
0:41:10	設置によるリスク低減効果見るっていうところを観点及び不適として評価を行う計画としております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:19	なので、ここで書いて7ページ目で書いてあるような取り組みは、
0:41:25	4回目にもいろいろだけでも、
0:41:28	5回目にします。
0:41:30	ということになっているけど、
0:41:37	目的を踏まえて、段階的に、第5回で水崎常務のアズイズかと、5年ごとの評価対象APRMの再評価のタイミングでもございますので、そこに合わせて評価する計画としております。
0:42:27	いうふうに思います。
0:42:31	すいません。
0:42:34	段階的に反映するというそういうごめんなさい。
0:42:38	はい。なので第4回とかもう入れられるものは入れられるってということなんですかね。
0:42:50	九州電力の篠崎でございます検討第4回に行きましては今の計画しておりますのが第1回届け出のモデルをベースとして、順調に
0:43:02	JAMSTEC特重施設が追加できたら、によりリスク低減効果がどれぐらいやられたのかっていうことを確認するために、第1回モデルと比較して、
0:43:14	評価をしております、そういう目的から他のこういう高度化の取り組み状況の範囲っていうのは、大してない状況となっております。
0:43:29	すいません、規制庁のイトウですけど、今7ページで見るとですね、PRAについてはすべて関係してるんですけど、これも第5回以降やるようなこともないという見方でよろしいですか。
0:43:52	はい。
0:43:56	開口端的にはそういうふうに90年ぐらいのだけでございますし、専門性の方が外に出てしまったんでもう一度水源のほうに対してのCでしょうか。
0:44:09	今書かれてる項目はですね、第7期第5回。
0:44:14	以降に反映するという考えで、そういったものも、この項目以外にはこのばないという見方でいいですかね。
0:44:27	自然クラスの中でございます。特性の方にアップさせていただいてる項目につきましては、第5回の計での規模で反映させていただく計画でございます。
0:44:39	以上です。
0:44:47	第5回目以降に段階的に入れてくって段階的っていうのはここまさにこの話なんですかね。
0:45:00	による背弧会議
0:45:03	一気にやるんですねごめんなさい。ミキヤですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:10	供試量昔のだけでございます。ちょっとスライド7ページに記載させていただいている項目につきましては、第5回の方で聞きたいなあとさせていただきまして、今後研究等を課題として掲げとして移管している9ページのほうで挙げさせていただいております。今後の課題っていうか、
0:45:29	このございますけども、こちらのほうにつきましては、緊急の進捗等を踏まえてソフトにつきましては、班員できる状況になったら、それで段階的に反射していく。
0:45:40	いく方針なのかなというふうに考えております。
0:45:44	数字でわかりました国会で出す部分はここだけですわ。
0:45:50	はいその通りでございます。
0:46:02	規制庁のミキヤですけども8ページ目なんですけれども、
0:46:05	88ページ目って、電中研の話も書いてあるかと思うんですが、これ公社の話ではなくて、基本的には、
0:46:16	もう電中研共同の取り組みがここで紹介されているという理解でいいですか。
0:46:23	北面セキュリティーのほかに聞いているけど、
0:46:26	ですわ。
0:46:29	要するに話の動きでございます。電中研の記載があると伝えて8ページに記載させていただいている項目としましては、内部火災内部溢水PRA、
0:46:41	いうところにつきましてはイトウ、現在手法の開発整備事項を行っております、
0:46:52	本店等らしい見つけ中身を元に改造を進めていくとこの開発を進めていっているところでございます。
0:47:03	規制庁そういう意味では階層イベントツリーとか直結シナリオとか人的過誤がこれは電中研の取り組みではなくて、
0:47:13	これ各社さん同じ項目を挙げているかと思いますが、
0:47:17	これは独自でやられている取り組みということでもいいんですか。
0:47:22	九州電力の篠崎でございます。こちらの項目につきましては、イトウ共同冷凍取り組んでいる項目で、協議中で取り組んでいる項目として、統合され取り組んでいるものではございません。
0:47:42	そうしますと、今、電中研で開発しているような手法というのと、
0:47:49	電事連ベースか何かの委員会で何か議論されて共同で、
0:47:55	改善しているものと、
0:47:57	2種類あるってことですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:20	九州電力の船橋でございます。イトウ手法の開発等につきましてはイトウ共同で実施しております、イトウシナリオの検討ですとか、そういったところにつきましては個別こちらの方で対応ということで、
0:48:34	評価していくものとなっております。
0:48:44	他の者さんからもあります。ごめんなさい信頼によって、例えばこの9電さんのページでいうと、
0:48:51	例えば炉心直結シナリオでありますけど、これは当社で取り組む話、確か大飯の話が、当社の話が具体的にはあったと思うんです。
0:49:05	開発って言うと共同で取り組む話。
0:49:09	でもそれは内部溢水内部火災は電中研でやっている。
0:49:16	で、それ以外に共同でやっているって話がありましたけどそれが、
0:49:21	階層イベントツリーとか人的過誤。
0:49:25	そういう三つの取り組みがあるという理解なんでしょうか。
0:49:44	九州電力の篠崎でございます。こちらの検討、こちらも主な項目の項で書かせていただいている項目性等、
0:49:57	階層イベントツリーを炉心水位直結シナリオの精緻化検討したものにつきまして、同電力共通で評価を行っている、ああした評価や検討を行ったものとなっております。
0:50:10	具体的事象発生イトウといいますそれも金利確率評価手法の検討ピンクの項目につきましてはどうか。
0:50:23	電中研さんはいいところを委託の方で、ずっと検討の開始を進めているものでございます。
0:50:42	しかし入ってございます。
0:50:50	なんか説明書きのところで仕事を書いていただければ、そこは別にあんまり説明する必要はないのかなと思います。
0:51:14	九州電力が主催で行われてございます。ちょっと補足させていただく等の階層イベントツリーとか炉心直結シナリオについては、こちら何も繰り返して申し訳ないんですけど、こちら電力共同1研究ということでNRRCの研究の中で出た成果を踏まえた
0:51:32	整理ということで確認してございます。あと外的事象と人的過誤の評価につきましてはこれPラベル電力の共通的な課題として、共同委託みたいな形で検討を進めているという整理になってまして、こちらの内容が
0:51:48	見てわかるような形でちょっと記載を充実させていただこうかなと思います。以上です。
0:52:07	すいません、スズキの伊藤ですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:10	9年産の方、ページ9ページ目なんですけど、課題が書いてある部分。
0:52:16	課題はあるんですけど最終的な目標とするという時期がですね、書いてないんでちょっと少なくとも短期的次元で可能なのか、旧鈴木さんの営業活動表ですね、課題のBの改定ですね。
0:52:34	どのくらいを目標にしているかということは確保できません。
0:52:46	KIcと
0:52:49	九州電力の篠崎でございますが、こちらの課題として書かせていただいて、今後について検討、まだその目標自体等の緊急がいつ定まるかわから折川わからないという項目もありますわかるものについてはイトウ。
0:53:04	時期について、
0:53:09	架空の形で整理をしたいと思います。
0:53:14	いろんな部署なんですけど、大丈夫ですか。
0:53:32	すいません関西電力菅原ですけれども、研究の見通しといいますかとスケジュールのところなんですけれども、弊社の資料で言いますと、まず8ページの方の
0:53:44	チャートのほうで、例えば地震津波の評価手法の高度化それから火災溢水の研究開発の大まかなですねスケジュール化を
0:53:56	このページで示しております。それ以外のもう少しそのブレイクした何年を目途にといったところは、NRCさんNRRCさんのやっぱ研究ロードマップみたいなところに記載されているものを、ぐらいまでが今可能な範囲でちょっとそれ以上になりますと、研究の進捗を見ながらとそういったことになろうかと思いません。
0:54:19	規制庁など可能な範囲で、
0:54:39	関西電力です承知いたしました。
0:54:47	四国電力も同様に対応させていただきます。以上です。
0:54:51	お願いします。
0:55:19	規制庁のママダします。ちょっとIT関連産業の資料の7ページのところでちょっと確認なんですけど、
0:55:30	これも一つの目的かというところで、
0:55:37	〇の二つ目の
0:55:39	チェックマップ二つ目のところで、
0:55:41	これまでに損傷した場合、損傷決める程度でできるということも書いてあって、この精緻化のデータイトウ地形的方向性しかできないことから、事前の評価に用いた専門家判断の審査に電力測定器において、
0:55:58	評価の精緻化手法を今後検討していくしていくというふうに書いてあって、ちょっとこれよくわからなかったと地震の評価に用いた専門家末端っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	もしかするとそれと伊方の方でやられた者とかなんかそういう話と絡めて、Report地震ハザードですけど。
0:56:16	あれと同じような専門家判断っていうか、そういうようなことを構築しようとするという、そういうことを意図して、
0:56:23	Look文書でしょうか。ご確認です。
0:56:29	すいません関西電力の橋田です。すいません音声が大分聞き取りづらかったんですが、ちょっと推測するに、合成ゴムか判断のところどうしてますかということだと思います。ご認識の通りで、令和の方でやられた斜角のような、いわゆる専門家をたくさん集めて、
0:56:48	機器が壊れたときの処分損小規模であったり、損傷程度であったり、草が壊れることによってどういう範囲までその機能がやられるか、一番残るんじゃないかとか、そういったところを確認していくことを考えてます。ただ、
0:57:05	具体的に今どこまでできるかっていうところはまだ検討段階ですので、これから3年ぐらいかけてやっていくことかなと思ってます。全中前半側でPAR直接データの一部最弱部位を切り離してますよっていうところのご質問があったかと思うんですけど。
0:57:23	すいませんここはちょっとご質問の内容が全然聞き取れなかったんでもう一度お願いして欲しいでしょうか。ミヤモトのSEM判断の絵として持っているのが、地震動評価に用いたと書いてあるので、なかなか私と意外とイメージと同じようなご説明をしていただいたので、大丈夫です。
0:57:43	了解いたしました。
0:57:45	あとすいません。先ほど九州さんでご質疑やられてたところで、どういった仕分けをしていますかと言うお話があったかと思えます。基本的な考え方としては、その物事の考え方、共通的な部分に関しては、共通でやりましょうと。で、
0:58:04	分化していった最終的にはプラントパイプラントのものになってきたときには5社でやりましょうというところですので、NRRCの絡みとしてはこの研究である委託であれ、どういった課題があるかっていうのは、後にこの中でも共有しますので、NRRCとして認識してるということが、
0:58:23	NRRCが主体となってやっていただいているところは、研究的要素のところになりまして、注文の確率であったりとか、C加振試験でデータを集めるとか、そういったところをやっていただいていると、そういう整理かと思っておりますので、最後にミキヤさんが最終的に、
0:58:40	手法を変えてくださいっていう話があったかと思うんですけど、これきりに別に手法書かなくてもいいんじゃないかなと思うんですけどそこは必要ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:52	で、今の進捗に応じてなかなか書けるものと書けないものがあるってことなんですかね。
0:59:01	検討進捗に応じて書けるものだけ内容があるというわけではなくて、例えば弊社の7ページ目のところで、手法はどこでやりましたかって言われたら、電力共同委託で全部やってますというものになります。ただ、
0:59:19	その手法を変えたところで、何の説明にもならないなと思って書かなくてもいいんじゃないかなと思ったという次第です。
0:59:27	一番下のは、これ各
0:59:31	個別のPRAでどこまで反映したかっていう話なのでまだそれが共通研究のレベルにあるのか報告の評価で取り組まれているのかというのがわかればいいのかかなと思ったんですけども、そういう意味でNRCの話がありましたので、そのところはまだまだこれから
0:59:49	今共同で研究中で今後の取り組みって話が見えるんですけども、それ以外のところがちょっと見えづらかったのも、個別で伺いましたんですね。
1:00:03	すいません。ただ、今後取り組むのか、検討が終わったのか、検討中なのかということであれば、例えば弊社の7ページを見ていただくと、もちろん確認していただくと、開催変動するに関しては、保守的じゃないということも確認した名簿、保守的じゃないことを確認できたから、
1:00:22	上げもしないということになりますし、先ほどの建屋のところに関しては反映してるということで挙げてますし、専門家の方も検討していくと、踏査からやっぱり手法に変えたところは、今後反映しまして異なって、
1:00:41	だからニーズをクリアしてるかなっていう気はしてるんですけど、いかがですかね。わかりました。
1:01:11	規制庁のヒダカです。
1:01:14	九州電力gooの資料の9ページに当たるんですけども。
1:01:23	PRAに係る課題っていうところで、高度化とかそういったものが策と書いてあるんですけども、これ聞けば中身を聞けばお答えできるレベルにあるんですか、詳細は。
1:01:40	九州電力の篠崎でございます。少年等窃盗高度化に関する取り組み内容についての隙間できるものです。
1:01:54	あ、
1:01:55	実際その例えばハザードフラジリティの評価手法の高度化では、どういったことをやられている。
1:02:03	でしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:09	九州電力の篠崎でございます。フラジリティ評価手法の高度化というところで、だめにつきましてはPRAGTについては主になりますけども、
1:02:25	今の時点の保守的な評価しましたらしいものがございまして、そういったものについて、より現実的な評価結果となるように、評価手法の高度化して元気になるような
1:02:41	場所の開発を行っていくというような内容となっております。
1:02:51	そうです。
1:02:54	それでもまだちょっと抽象的なんですけども。
1:02:58	すいませんけど、ちょっと実態令和現場ママダ等のケーブルトレイとかはありますけども、こちらの方につき、
1:03:10	ましてイトウっていうのも合わせている代表性等、ケーブルトレイがやられたらその弁類がやられるっていうような現状の評価を行っておりますけども、また実際にケーブルトレイによって壊れたからといって、中身のケーブルが、
1:03:27	もしケーブルがやられたら切れたらぶら下がるような状況になるのかなというところで、ケーブルの機能が喪失するわけではないということは考えられますので、すでにそのケーブルに
1:03:41	実際のそのフラジリティですとかそういったところの評価を行って、このようなシートを
1:03:48	こちらの方で、これで実際に取り組んできてるものとなっております。
1:03:54	ヒダカわかりました。ありがとうございます。
1:04:19	原子力規制庁フジモリですけども。
1:04:22	9電の資料の9、10ページですか、改善計画の
1:04:28	章が、
1:04:30	つけていただいています、
1:04:33	さっきからちょっとコメントってますけども、
1:04:37	今後の改善計画と言いつつですね 2000、
1:04:41	20年度までの話しか書いてなくて、
1:04:46	なかなか書けなかったのはさっきのその改善、具体的な改善項目ごとに何年目となり、長期とか
1:04:55	明確に入れていただかないとよく
1:04:58	わからないな改善計画。
1:05:00	がちょっとよくわからないなっていうのと、
1:05:04	あと
1:05:05	検査、
1:05:07	の運用開始っていうのを入れてもらって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:12	ますけども、
1:05:15	ちょっと私はあんま経済の方詳しくないんで、間違ってることもあるかもしれませんが、
1:05:22	基本その規制検査で使えるように、各
1:05:28	各事業者で作ったPRAモデルを規制庁確認していろいろコメントが出た上で、その手法を改善して、検査で使うことになっていく。
1:05:42	なお、認識してるんですけど、
1:05:45	なんでその中リンク的なところでいつまでにその規制検査で少なくとも内的事象PRAが使えるようになるんだとか、外的地震がいつなんだとか。
1:05:59	その辺なんかリンクして、その改善計画みたいになって、
1:06:03	示せないんですかね少なくともその検査制度でモデル化を高度化したら、それがそのまま
1:06:12	こっちのPRAFSARのほうにも、
1:06:16	同じモデルが高度化されて、
1:06:20	どんどん改善していくっていう。
1:06:22	そういう認識でいいんですかね。
1:06:31	九州電力指導です。今現在原子力規制検査で使うPRAモデルのレベル万とかレベル 1.5 っていうのは、規制庁に各さんに確認していただいている途中で運用と、ここで書いてる主なスケジュールっていうのは原子力規制検査、
1:06:51	が始まったのが 2020 年度 4 月っていうふうに書いてる。
1:06:56	入ってまして、モデルとして、原子力規制検査で使っていくのは、この適切性確認が出荷終了して五つっていうことが確認された後から使用していくというふうに考えてますので、
1:07:12	ないと。
1:07:18	決まってますよ。
1:07:25	適切性を確認していただいたと言った規制庁さんが、私たちが対応させていただいたモデルを使用して、原子力規制検査で運用していくというふうに考えておまして、
1:07:40	モデルの更新については、安全性向上評価での第 5 回内仙台でいいますと、今玄海が一番進ん弊社の中のB条例モデルとしては進んでおまして、
1:07:58	適切性確認が進んでおまして、ちょっと玄海の場合でお話しさせていただきますと、限界で、次のPRAモデルの改定時期というのは、特重施設の反映とかを行う限界。
1:08:14	第 3、今第 1 回届け出を出した後出してますけども、その第 3 回に向けて、今 PRAモデルを作成中で、この

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:08:25	特重施設反映などのタイミングで合わせて、更新しか都議更新していくという ようなスケジュールで考えております。以上です。
1:08:38	はい。規制庁フジモリですけど、何でそのプラントごとにそれぞれの
1:08:44	level案とか 1.5 とか今後入れていく時期が違うと思いますし、経済の方でも、
1:08:52	いろいろその指摘を受けて改善していくので、
1:08:56	何か個別というよりはそこはちゃんとそのリンクづけがわかるような形にして もらってこう改善していきますっていうのが見えるといいんですけどっていう話な んですが。
1:09:17	すいません九州電力の出典でございます。本日そちらにイトウさんがいらっし ゃると思っていた数字の原子力規制検査に使用されるのモデルについて確認 していただいている内容を踏まえた改善は保護していくということで、今後、
1:09:35	おそらく 22 日の同日に規制庁さんから確認状況が出されて、それを受けた状 況で我々も今後改善していきますという、議論をさせていただく状況になると理 解しているんですけども。
1:09:50	それ以降の議論がまだ表に入れないのか。いえ、このPRAの改善計画のや はりちょっと原子力規制検査のかかわり合いともモデルの改善っていうところ を入れていった方がいいのかどうかっていうところはちょっとご相談させていた だきたいと思うんですけども。
1:10:09	そこら辺はいかがですか。
1:10:15	就任時に該当ですね中用量の公開で、検査はですね、そこで明らかに企業 等、同じ日会に出向は午後 2 時半から。
1:10:29	これは午前中ですね。
1:10:31	持ち上がる勉強さなければなるからきっと大丈夫なんですけど、できたところ から使っていると。
1:10:42	その会合踏まえて今後入れていきます。そのほかにぐらいつけられていただ けるかとかもわかんじゃないんですよ。
1:10:50	それから使い最初はって言い方は二つは、
1:10:55	コメント出してまた言い方自分でこれほどの更新になりますので、使えるもの を使っていくという。
1:11:03	なんかその辺の
1:11:05	例えば伊方とかのその改善状況、
1:11:09	いついつごろまでに何をやるかっていう検査側での指摘を踏まえた動きがある んであれば、
1:11:17	それも
1:11:20	リンクして書いてもらったほうがいいんだっっちゃうことなんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:24	全部書けなさそうなのかちょっとよくわかりませんが、九州電力の発信でございますので、その趣旨を踏まえたながら内容を記載しているのが、
1:11:37	予算のスライドで、7 ページのところに書いてある内出力時PRA評価手法の高度化の取り組み状況のフェーズ 2 ます。ここは範囲の伊方さん、今モデルを伝えて書いているとかされた部分について、
1:11:57	我々一斉に大イトウ原管して、基本的な範囲でいくと、委員会の方はすでに反映しているというような状況を整理させていただいたスライドになってまして、基本的にこのページを見ていただくと、
1:12:13	毎月その言い方の外にレビューを踏まえたり、規制庁さんとの面談の中で確認いただいた内容とここでまとまっている部分が多いんじゃないかなと思いますけど、いかがでした。
1:12:48	規制庁フジモリですけど、
1:12:50	ちょっとまず全体的な、
1:12:53	スケジュール感がわかってないんですけど。
1:12:56	今やられてるのはあくまでレベルワンの内話の話だけであって、
1:13:03	それ以外のところは、
1:13:06	検査の方、
1:13:08	まだ何も動きがないってことなんですね。
1:13:14	九州電力が社員でございます。今規制庁さんにTHAIさせていただいているにつきましては、内話の白地のPRAのL1 レベル 2 というようなモデルになってまして。
1:13:30	それ以外のモデルについてのお話、現状検査でどうされるかという話をお聞きしてない。
1:13:38	公判廷筋についてっていう議論あったのは認識してございますが、地震とか津波とか、そこら辺ほとんどされるっていうところは、もともとピットところはまだはっきりとは
1:13:54	示していただいて、どうするのかっていうのは議論させていただけないかなと思っています。
1:14:00	フジモリですけど確認ですけど、レベル 1 と 2 はある程度スケジュール的に進んでるっていうことですか。
1:14:12	節 15。
1:14:18	九州電力指導SlevelAP今規制庁さんに対応していただいていたかしているレベル 1 とレベル 1.5 については、今現在、確認して、
1:14:33	いただいている状態で適切性の確認の面談等今させていただいてるんですけど、その中では、大体レベル 1 が来年度内ぐらい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:50	終わらせたいみたいな、そういうスケジュール。
1:14:54	は、
1:14:56	現状聞きしていると認識してます。レベル 1.5 についても、ちょっとそこをまず正確に現状わからないですけど、そこはそこら辺で終わらせたいなというような発言があったと認識しております。以上です。
1:15:20	なるほどそうすると規制庁フジモリですけど。
1:15:25	7 ページ目とかの今後のその高度化の
1:15:29	取り組みってというのは、
1:15:32	そこまでには、モデル上はできるってということなんですか。
1:15:42	バックチェックで 6 人です。7ppmに書いている内容については、
1:15:50	現状そこで反映できると。
1:15:54	と考えている、おります。
1:15:57	なるほどそうするとかモデル上はできてるけど、評価届け出すのがちょっと。
1:16:04	あと出す後ですっていただけなんですか。
1:16:10	いや、鉄塔届け出で今現状できているというわけではなくて、
1:16:17	そこまでのタイミングで規定と仙台でいうと、誤開届け出反映までの汎用性って書かれている誤開届け出までのタイミングですべて反映できたモデルができ上がるという、
1:16:32	ような機会をしております。
1:16:36	規制庁フジモリですけど、確認ですけど、その 3 月までにホテル企業泡もできていて、
1:16:47	これが今改善時とり高度化として挙げている項目については、規制庁側に確認。
1:16:56	をしてもらっていて、モデルとしてはできてるんだけど、
1:17:00	評価はこの第 5 回の届け出範囲までにして、
1:17:05	第 5 回の届け出時に評価結果が初めて、この
1:17:10	改善したモデルを使った評価結果が出てくるっていう。
1:17:14	理解でいいですか。
1:17:17	X線ラインにつきましては、例えばプラント運用状況の反映というところで交互運転を想定したモデルへの変更等がありますけど、そういうところについては、現状規制庁さんに対応させていただいてるモデルでもまだ反映はできていない。
1:17:34	状況ですんで、そういうの以外以外については現状規制庁さん 2000 台については対応させていただいていますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:46	まだHead確認が終わっていないについては、まだ別途確認が全然進んでいない状況ですので、適切性っていうのは確認されていない。
1:17:57	埋まる時間がかかるのかなというような認識でおります。
1:18:02	データとして、共通原因故障の話とか、国内一般機器故障率の更新などの話も、まだ規制庁さんに対応させていただいているモデルには範囲できておりません。以上です。
1:18:24	規制庁フジモリですけど、そうするとその7ページ目のそれぞれの項目に
1:18:31	いつごろ、
1:18:33	モデルに反映可能かっていう、めど書いてもらうと、その辺が、
1:18:39	わかるっちゃうことですかね。いや、もうすでにモデルに入っているものと、
1:18:43	はい。ほぼ入っていて、
1:18:47	大丈夫そうだ、来年3月中末ぐらいまでに、
1:18:51	反映管理をするものと、
1:18:53	それ以外のものと、
1:18:56	が、
1:18:58	わかる感じになりますかね。
1:19:05	あくまでちょっと御聞きしたいんですけども、この資料の7ページの資料の趣旨としては、安全性向上評価のどこのタイミングで安心していくのかっていうのを考えた上で作成し、弊社としては作成しているんですけども。
1:19:23	安全性向上評価にとらわれず、それぞれどこのタイミングで反映できているかっていう具体的な年度を記載。
1:19:32	してはどうかというようなしことを今言われているという理解でよろしいですかね。
1:19:37	はい。規制庁フジモリですけど、結局その高度化高度化っていつまでにライブラリがどう、どう合ってるのかっていうのが、
1:19:46	よくわからない。
1:19:47	その円が
1:19:49	明らかにして欲しいんですよ。
1:20:03	で、その一つのタイミングが検査に、
1:20:06	使えるようになったタイミングで、ある程度の高度化の反映が終わって、あとさらなる高度化ちゃうのかもしんないですけども。それが一つのタイミングなのかなと思ってそのリンクづけ。
1:20:22	できませんかっていう話を最初にさしてもらったんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:49	すいません九州電力です。なぜS波のそもそもの対応っていうのは安全性向上良好に向けた継続的な向上に向けての会合何面だと考えてるんですけど、今のフジモリさんのおっしゃったやつはそれとちょっとこう検査制度は、
1:21:09	ちょっと入り込んで、ちょっと混乱してると思うんですけど、その辺の全体的な介護の趣旨っていうのはどういったところに、どちらにあるんでしょうか。別に検査制度に重きを置いているわけでは全くなくて、
1:21:25	PRAとか、届け出でどんどん出てきてますけども、まだどんどん改善がされて、高度化高度化って言っていつまでにできるんですかっていうところが正直はっきりしてなくて、
1:21:42	そこをはっきりさしたいっていうだけなんですけど、す。
1:21:47	そういう種類そういうイトウ案ですけど。
1:21:55	これでいいと我々としてはですね、イトウ7ページに書いてあるように、この届け出で反映します。原管につきましては独自に合わせて反映しますから、書かせていただいているつもりなんですけれども、
1:22:09	安全性向上評価としてはですね。
1:22:25	がこれでもう終わりなんですか、もう他には。
1:22:29	なくてもこれでもう一段落して、PRAとしてはもう完全なものができますということなんですか。7ページ目。
1:22:48	さらにその復旧手段の抽出例それから今後、7ページに書いてないようなやつページのほうに書かせていただいて、こういった課題がありますよっていうのを記載させていただいているつもりなんですけど。
1:23:16	9ページ目も結局時改造パラメーターデータベース整備等って書かれても、7ページ目が山ですけどね、引き続き、
1:23:30	またフラジリティ評価はさっきも話ありました高度化って言われたって、
1:23:36	何が。
1:23:38	どうかちゅうのがよく、
1:23:41	7ページと9ページ、項目が違うというのはあまり認識しなかったんですけど。
1:23:49	7ページのが終わってから9ページ目のやるちゅうことなんですか。
1:24:02	九州電力の篠崎でございます。7ページのほうに記載させていただいている項目としては松沼につきましては第5回統計ではこういった高度化の
1:24:16	取り組みを行っていきますけれども、今言ってます
1:24:20	それに、
1:24:22	それ終わって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:25	かなり酸素のGページ時前の上の方に書かせていただいている項目としてはまだ現在イトウ経営研究とかも進められている項目でしてその研究が別の手法が定まり次第、Tへと
1:24:42	反映させていただくってようなものになるかと思っております。
1:24:51	規制庁フジモリですけど、そうするとちょっと、
1:24:55	誤解をして、
1:24:57	またかもしれないですけど、
1:24:58	7 ページ目のが
1:25:01	最新化とかっていうその全部が全部終わってやるんじゃないで、さっきこの7 ページ目のうち長期的な
1:25:09	かかるものとかっていうイメージだったんですけどもそうじゃなくて、7 ページ目のものは全部、
1:25:16	最新化文献の最新化とか、
1:25:19	一般機器故障率の適用というのはいもうすべて、
1:25:23	第5回前目までに終わり終わることが可能でモデル全部反映。
1:25:30	することができて、残るのが、
1:25:33	9 ページ目の話で、9 ページ目のは、
1:25:39	どんぐらいの単位なのか、5000 なのか 10 年になるかもっと長期であるかは、ある程度ちょっと目安は入れて欲しいんですけど。
1:25:47	9 ページ目のはいもう完全に長期的な話。
1:25:51	そういう理解すればいいですか。
1:25:56	はい、その通りでございます。
1:26:16	そうするとさっきの7 ページ目は内的事象だけなんですけど、
1:26:21	それ以外のやつは、
1:26:23	どうなりましたっけ。
1:26:25	8 ページ目がカワグチ式
1:26:34	九州電力の篠崎でございます。どう
1:26:38	スライド7 ページの方に内的事象のMAAPコード考え置かせていただいているんですけども、圧損鉄塔ページの方で外的事象の方かというふうに考えていただいております、基本薬的なその内的事象の
1:26:53	モデルをベースとして外的事象の評価等を行って参りますので、こちらの高度化の取り組み内容も別途反映されたものが、等ができそうにも関西だものは出して提出させていただくことにつきましております。
1:27:35	段階的な方法は全く時期がわかんないってことですか。
1:27:55	8 ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:04	九州電力のあっせんにございます。よろしいでしょうか。八条のところ先ほど関連の橋田さんも補足していただいたんですけど、階層イベントツリーに関わる手法については、こちら確認済みなのでも反映しなくていいというふうなことの整理になりますと、
1:28:20	あと炉心直結シナリオの成立化については、今後検討中という形で、現在起因事象の人的過誤の評価も、今後手法を検討中というステータス復習ところは弊社、
1:28:35	三名さんが説明されてないと同じ何ページ、そういうふうなちょっと言葉じりが足りないところがあるので、そのところを確認済みとか検討中とかいうところでステータスは書けるかなと思ってございます。
1:28:58	8 ページ目と9 ページ目の9 は、
1:29:03	第 1、
1:29:04	1 繋がってます。
1:29:08	正地区、
1:29:14	B、
1:29:15	9 ページ。
1:29:30	設置
1:29:36	管理、
1:29:39	イベント
1:29:41	です。
1:30:09	規制庁フジモリですけど、わかりましたととりあえずだからその今後の話はきちんとその適用時期とかかける。
1:30:17	可能な範囲で、
1:30:19	かけられたら長期とかなんか。
1:30:21	入れてもらって、
1:30:24	わかるように、
1:30:26	してもらえば、
1:30:27	思います。
1:30:35	はいどうぞ最後に、A調整 300 さまに記載させていただきたいと思います。
1:30:48	四国電力の中原と申しますが、ちょっと私の方から質問させていただいてよろしいでしょうか。
1:30:57	私も九州なぜさんと同じでちょっとこの議論が何かよくわからなくなってきたんですけど、そもそもこの系統事業者のPRAモデルのその進捗をはっきりさすという趣旨は、これは事業者のモデルを使って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:16	例えば、どこの時期に安全目標に関する議論を規制庁さんが始めようとしてされているのか、それとも、例えば、今内的ですけど、外的のPRAを活用して、何かしら
1:31:32	その規制庁さんがいつかの時点で買って何かしらの活動をしようとして、そういうスケジュール感をカワグチたいというそういうようなご趣旨でしょうか。
1:31:45	規制庁フジモリですけどやそこまで考えてなくて、
1:31:49	単にだから今までのPRAずっと高度化高度化って言っている中でどこまで進んでるのかっていうところを今回知りたかった。
1:32:01	だけであって、そんな時にその検査の方の
1:32:06	で使えるようになるっていうのが一つの指標になんじゃないかなっていう
1:32:11	考えから、
1:32:13	そのリンクできないのかっていう、
1:32:16	ところなんてどう聞いただけなんですけど。
1:32:20	はい。わかりました。
1:32:23	わかりました。内的については、大分高度化をされて、エネ伊方の場合だと、新検査制度で用いていただけるというレベルにあると。現在はただ足りないところは、
1:32:41	妥当性確認の中でご指摘していただいていますので、それについてもある程度当社の場合スケジュールを作って、モデルに反映しようとしております。PRAについては、何ていうか
1:32:56	結局、そのPRAをどういう目的に使用するかというところが一番重要で、新検査制度で、そのSDPEで保守的な評価でそういうことができるのであれば今でもできると思ってますし、
1:33:12	仮にこれを保安規定のAOTを変えるような、そういう評価をするのであれば、もうちょっとモデルを精緻化する必要がある。さらには、
1:33:25	安全目標とか、
1:33:29	あと、あまりこれは今回の会合で言えないですけど、オンラインメンテナンスのような、そういうことをするのであれば、さらに精緻化が必要で、精緻化する過程において、
1:33:45	例えばしたんじゃ自身が適切かどうかわからないですけど、やはりモデルを組んだ状態でまわしてみると、いろんな出っ張りがこれまで隠れていたような、
1:34:00	出っ張りが精緻化で出てきて、それをまた精緻化するというような作業も延々と続くので、なかなか具体的な期間をですな、お示するのは難しいなというのが私の感想です。以上です。
1:34:36	こちら、推進した人が低い。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:34:52	規制庁フジモリですけどソースターム、
1:34:55	資料、
1:34:58	11 ページ目ですか。
1:35:01	九州電力の資料の 11 ページ目ですけど。
1:35:05	完了しての新たなカテゴリーを作って、
1:35:09	解析結果を分けて出しますというところで検討。
1:35:16	これあれでしたっけ
1:35:18	発生頻度。
1:35:21	は出てこない。
1:35:23	ちゅうことなんでしたっけ。
1:35:27	すいません発生頻度が出てこないっていうのは、今現状あるかないかという話をされているのでしょうか。今後その届け出のときに、右側の表だと分類イトウソースターム解析結果の欄だけ作ってるんですけど、
1:35:44	左側のその発生頻度の欄のところは、
1:35:49	完了室のところは出てこないってことですか。
1:35:53	の確認なんですけれども、発生頻度については、評価がすれば、従前通り出ますので、届け出書には記載させていただこうと思っておりますけども、今現状はぜひ中立提携。
1:36:11	評価中立なのでそこについては今現状は記載できていないというような状況になっております。
1:36:17	わかりました評価はできるということですね。はい。
1:37:31	規制庁のミキヤですけども、慣例 3 の 12 ページ目でDNPの話ありましたけれども、
1:37:41	このDNPは、許可工認レベルで変わった話を、
1:37:49	反映させるということで、Q点のような話では、
1:37:54	9 の火山パネルの話ではないと、そういう理解ですかね。確認だけです。
1:38:05	すいません関西電力の丸山でございます。9 電さんのような、というのはどういう意図でございますでしょうか。特に許可、工認にかからないような評価をやってGT自主的に短期許容
1:38:22	をされているかと思うんですけども、そういうような話ではないということですね。
1:38:27	今後の影響評価の方法については今後検討かなと思っておりますけども、少なくとも今の現段階においてはDNPの議論が収束しております許可が許認可終わっておりませんので、今後その内容も踏まえながらですね評価方針を検討していきたいなと思っている次第でございます。基準日です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:45	民間レベルの話を変えるだけではないということですか。
1:38:52	許認可の状況を踏まえて、
1:38:56	PRAへ反映するだから数字とかを目指すということがですね、許認可の抵抗あくまでもいつ出せるかなというところについては、許認可の状況を踏まえて今後評価をしますということを書かせていただいている次第でございます、また評価の内容については今後検討かなと思っております。
1:39:38	はい。
1:39:40	よろしくお願い。聞いてない。
1:40:32	原子力規制庁フジモリですけど、
1:40:35	ちょっと全般的なところで、
1:40:39	各社にお願いしたいのが、
1:40:43	参考資料の最後に参考としてつけてもらえばいいんですけど。
1:40:51	今までその概要説明とかデパートで、
1:40:55	PRAとか被ばく評価、それからストレステストの
1:41:01	全体の評価結果の
1:41:04	概要を
1:41:07	説明してもらってると思うんですけど。
1:41:09	基本その抜き出していいんですが、各プラントごとの
1:41:16	PRA
1:41:17	A被ばく評価ストレステストの結果の一覧みたいなちょっと何かつけてもらいたいんですけど。
1:41:36	すいません関西電力丸山でございます。イメージとしては、例えばPRAであれば、内的レベル1でCDFがどんな数字になっているとか、レベルIIでCFFがどうなってるとか、SPEEDIであればクリフエッジGについてはこういったSsへこの事象の単一事象であればこういう数字になっているとかそういったところを担当ごとに整理しろとそういう趣旨でよろしいでしょうか。
1:41:57	はい。もうちょっと細かい一応札幌のポンチ絵で、例えば今見てるのが4号の第1回のやつなんですけど。
1:42:08	PRAの結果とその出力出力時停止時。
1:42:12	地震津波
1:42:13	の欄があって、
1:42:15	横軸が
1:42:17	事象になっていて、縦軸が
1:42:21	CPF事故シーケンスグループになっていったトータルの
1:42:25	結果が示されているようなやつがレベルワンと1.5。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:30	第 1 倍の
1:42:32	パワポに入っていて、PRAはそれ、
1:42:36	よくて、
1:42:38	被ばく評価結果は、
1:42:41	ソースタームと被ばく評価の結果ですかね。実際、それはここにあるかとちょっと誤解あると思いますけど。
1:42:50	ストレステスト。
1:42:52	クリフエッジ機器等、
1:42:56	その加速度が載ってる方が 1 枚で、
1:42:58	いいんですけど。
1:43:00	一応基準地震動とか基準津波を参考に、
1:43:05	書いてもらったりとありがたいんですけど。
1:43:10	そんな感じですね。
1:43:41	規制庁フジモリですけど、大飯だと、工事先の 4 号機の届け出の概要だと。
1:43:49	ストレステストはなんか 27 ページ目に、
1:43:56	一覧表で載っていて、地震単独津波単独クリフエッジとか、
1:44:03	これぐらいのイメージなんですけど、
1:44:07	関西電力丸山ですけれども、PRAのは何ページのイメージでしたかね、或いは 17 ページ。
1:44:14	17 ページに造船ボルトの色が多分緑とか赤色とかピンクとかできるわけですね。
1:44:25	NASAね。そうです。それです。あと切り出しましたので、こちらの方は 20 ページみたいなイメージでよろしいですかね。多分。
1:44:35	例えば、
1:44:41	これ、今の今回の資料で言うと、関西電力の資料で言いますと多分、10 ページ 11 ページにちょっとこれは高浜 34 のほうは分散されて書かれていますけれども、もう 1 回高浜 34 号、同じ資料をつけたほうがよろしいですかね債権みたいな形になっちゃいますけど。
1:44:58	いや一緒に載ってる方一緒でもいい。
1:45:07	ちょっとこちらでも考えたいと思いますはいとございます。
1:45:12	被ばく評価のソースタームの
1:45:15	値がちょっと今のさっきの 20 ページだと、
1:45:19	書いてないのってそれがどっかに書いてある。
1:45:45	被爆とかちょっとソースタームと結果がわかるようにしてもらえればありがたいんですけどね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:59	ちょっと今日Vpがなさそうなのかもしれないのでちょっとソースチームの件についてはちょっとこちらでも確認させていただきまして、山の届け出の方の面談とか会合の中で使えるものがあれば利用させていただきますし、ないようであれば、もう水に合うような形の資料を作らせていただきたいと思います。はい、よろしくお願いします。
1:46:33	規制庁のミキヤです。
1:46:35	それでは一応ヒアリングとしては以上。
1:46:40	ですけれども、
1:46:43	その他何か事業者さんの方から何かありますか。
1:46:55	すいません九州電力後藤です。今し方お話あった実績に関するところのデータの整理なんですけど、基本的には先ほど言われたようなところの同様の分野での経営と整備について対応するということだと思っておりますけれども、当社8、
1:47:14	8階等で4ユニットありますので、それぞれのすべてのデータを載せるということになるんでしょうかね。
1:47:29	示してもらえれば、あとは最新だけですけど。
1:47:32	はい、わかりました。了解です。
1:47:40	前回1、
1:47:42	三、四、
1:47:43	詳細なことで、
1:47:45	112って書いた数字が別にあります。
1:47:52	その他何かございますか。
1:48:00	関西電力から特にございません。
1:48:03	ヒアリングについてはちょっと一旦これで終了したいと思います。ありがとうございました。
1:48:11	本日、当然ました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。